

大川小学校・熱川小学校等統合準備について

(平成30年2月28日現在)

1 学校行事(交流)等について

◎小学校

- 3月 1日 小学校1日交流実施
- 6月20日～ 大川小水泳授業(5日間)
- 6月27日 小学校1日交流実施
- 9月15日 小学校1日交流・授業参観・懇談会
- 10月19日 熱川小・大川小合同遠足 *雨天中止
- 1月29～31日 小学校3日交流

◎幼稚園

- 9月 幼稚園1週間交流
- 10月 幼稚園1週間交流 *10/5 熱川幼稚園運動会
- 12月 幼稚園1週間交流

※幼稚園では、上記以外にも例年と同じように交流を実施。(年間約90日)更に保護者交流も開催した。

*1月29日から31日の3日間交流について報告。(別紙1参照)

*大川小で行われていた教育活動を熱川小に引き継ぐことについて、両小学校でこれまでに行われた話し合いについて報告。

《ご意見等》

2 統合準備会会議について

*第1回(4/28)・第2回(7/25)、第3回(11/21)、第4回(2/27)開催

*会議録(要旨)を作成し、委員に配布するとともに町HPで公表
(別紙2-1～2-3参照)

《ご意見等》

3 PTA組織・活動について

○次年度以降の新たな組織について協議・検討

・規約の改正・活動事業(奉仕作業等)・協定服について(リユース等)

*平成30年度以降の会則や組織編制、活動事業について報告

*協定服、その他準備品(体操服等々)について報告

・協定服については、大川小全児童分を町で準備する。ただし、現大川小児童に貸与し、利用できなくなった場合は、熱川小リユース活動で利用できる協定服とする。(2/16発注済み。)(別紙3参照)

《ご意見等》

- 4 閉校・閉園記念誌制作について
*別紙4のとおり準備中（校正作業中）
《ご意見等》
- 5 閉校式・閉園式について
*別紙5のとおり実施予定
*参加者：200名を予定（案内状送付者83名、町回覧で参加呼びかけ）
《ご意見等》
- 6 大川幼・小の備品・文書処理について
*移動・整理（廃棄）備品の確認（備品台帳との照合、他校要望品の調整）
*図書の整理
*文書処理（文書管理規定の確認）
*備品及び文書の移動・廃棄作業
*給食費等金融機関との調整
《ご意見等》
- 7 教育課程、学習指導、生徒指導について
*教育課程（教務主任）
・両園両校擦り合わせ：本年度実施内容、次年度計画等
*学習指導（研修主任）
・両園両校確認：研修内容（基礎学力等）、各教科学習状況等
*生徒指導（生徒指導主任）
・両園両校確認：学校のきまり、地区会、児童会組織等
*熱川小学校の危機管理マニュアル「学校のきまり」について（別紙参照）
《ご意見等》
- 8 通園・通学バスについて
*通学バスについては、別紙6のとおり運行
《ご意見等》

9 大川小学校跡地利用の検討について

○町企画調整課と大川区において、協議・検討中

*平成27・28年度に行われた説明会では、以下のとおりご意見があった。

- ①幼稚園であった部屋は、交流の場・遊びの場として残せないか。
- ②グラウンドを子供達が安全に遊べる場として残してほしい。(公園整備)
- ③新たなコミュニティの場所として残してほしい。
- ④公民館(避難地、避難場所としては、これまでどおり)

《ご意見等》

10 保護者・地域への説明会開催について

- *4月13日 熱川幼・小PTAに対し実施
 - *4月26日 大川幼・小PTAに対し実施
 - *6月1日 地域説明会開催
 - *9月22日 地域説明会開催
 - *3月2日 地域説明会開催予定
 - *別紙7-1、7-2、7-3：説明会記録参照
- 《ご意見等》

11 その他

- *熱川小学校入学式・開校式(別紙8参照)
 - *中学生生徒の通学費補助について
- 《ご意見等》

【別紙 1】

大川小学校・熱川小学校 3 日間交流の振り返りについて (大川小学校)

1 子ども達の声

- ・とても楽しかった。絆を深めることができた。(雅人)
- ・1日だと慣れた頃に終わってしまうが、3日間あったので友情が深まった。
(唯生、侑平)
- ・友達がいっぱいできた。4～5人の仲良しグループ化していて、自分が入れても
らえるのか不安だったけれど、仲間に慣れたと思う。(璃緒、陽奈、葵)
- ・生活リズムが違うところに、まだついていけない。(日課、時間割の違い)
(璃緒、陽奈)
- ・バスに北川の子が乗って来ることを知らず、最初戸惑った。(陽奈)
- ・外そうじは初めての経験で、やり方がわからなかった。(陽奈)
- ・熱川小学校の子は、授業中落ちつきがないと感じた。(葵、陽奈)
- ・楽しかった。(3・4年生全員)
- ・みんなで遊べてよかった。(ユイト)
- ・落ちつきがなく、ちょっとうるさかった。(マオ)
- ・人数が多かったので、良い経験になった。(マオ)
- ・友達がいっぱいできた。(ユズ、ソラト)
- ・体育が面白かった。(アミ)
- ・授業中お絵かきをしていた。(かほ)
- ・友達と久しぶりに会えて楽しかった。(かいと)
- ・楽しく勉強できた。(せいら)
- ・なわとびの新しい技を覚えられてよかった。(らな)
- ・友達といっぱい遊べて楽しかった。(かいと)

2 保護者の声

- ・たくさん友達がつくれてよかった。(西尾 母)

3 交流全般での気づき

- ・上の子を待っている子のために、暖房をしてくれたようでありがたかった。
- ・バスの中がうるさかった。
- ・交流の中で、子どもたちが熱川小の生活に慣れることができたと思います。

大川小学校・熱川小学校3日間交流について (熱川小学校)

1 子供たちの様子

- 初めは緊張している表情だった(大川小児童)が、交流を行っていくうちに慣れてきて楽しそうに活動できていたと思う。(4年)
- 大川小の児童が積極的に手を挙げて発表していてとても刺激となった。
- 休み時間にはすっかり打ち解けて、楽しそうに遊んでいた。
- 大川小の子供たちは、熱川小の子供たちに自然に溶け込んでいるようだった。下の名前呼び合っていたり、グループ活動では子供同士で声を掛け合ったりして協力する様子が見られた。
- 高学年の中には、男子同士、女子同士でもどうかかわっていったらいいか迷っている児童がいたので、自然にかかわりあえるような手立ても必要かと思いました。
- 初日は緊張が強く、なかなか熱川小の輪の中に入っていけなかった。しかし3日間の目標を
 - ①自らかかわること
 - ②熱川小の生活リズムに慣れ、時間を見つけて行動すること
 - ③友達のよさを見つけることとし、次年度からのより良いかかわりにつなげることを共通理解した結果、最終日には学校の枠を超え、ただの友達としてお互いを受け入れる姿が見られた。
- 和やかに過ごすことができていたと思う。
- 本学級は一人だけの交流だったので、少し心細そうな場面もあったが、3日目には慣れて周りの子供たちと打ち解けていた。
- 朝の支度、日直当番、給食当番、掃除などの経験をさせたが、友達と助け合いながらできたように思う。
- 熱川小の子は概ね好意的で親切にしようという気持ちが見られた。
- 大川の子はおとなしい二人なので、クラスの様子に変化なく溶け込んでいる。
- 図工の共同作業で1学期は大川小二人でかたまっていたが、今回はそれぞれ親しくなった子と作業していた。
- 授業は初め、戸惑いが見られたが、問題なく慣れていくと思われる。
- 男子の数が少ないので、大川小の子が来てうれしそうな様子だった。休み時間は男子が声をかけ外に行く姿も見られた。
- 以前よりも子供たちも慣れた様子で、お互いに遊びに誘う姿が多く見えた。授業中の発言やグループワーク等も以前よりも積極的に活動していた。
- とても仲良く過ごしていた。話し合い活動や発表など大川の子も積極的に話していた。
- 体育で短縄や長縄を通して交流をした。大川小の子供たちは短縄がとても上手で熱川の子達がそれに刺激をもらいつつ「教えてよ」などの声が聞こえてきた。今後しっかりと大川の子達と仲良くしていこうという姿勢が見えたのでよかった。大川の子が分からないことも熱川の子達が教えていたりしたのでよかったと思う。
- △全員、表情よく帰っていったので良かった。寒さを訴える子がいたので、冬の熱川小の寒さに加え、熱川小の服装ルールなど大川小の子供たちや保護者にとってギャップがあるのではないかと少し心配になった。
- △集団生活に不慣れなので、自分から声をかけに行く姿は見られなかったが時間が解決してくれればと思う。
- △発表は大人数の前で行うのに慣れていないので、躊躇していることが多々あった。

2 保護者からの意見

*連絡帳からの意見なし

3 先生方の意見

*期待すること

- クラス替えがないので、進級時に刺激がなかったが、大川の子達と一緒に学校全体に活気が出るのではないかと期待している。大川の子達にとっては通っていた場所、学び舎が変わるので、不安なところもあると思います。カバーしあいながら1年過ごせたらいいなと考えている。
- 統合をきっかけにより良い関わり方、より良い集団としてのあり方を考えるきっかけになると思う。

*通学バス

- 通学バスの連絡についてすごく気を使っていて大変そうに思えた。(これが毎日続くのは大変そう)河津南小でも町バス使って登下校している子がいたが、もっと少人数だったので把握がしやすかったためか、それほど気を遣わずにいられた。児童も学校も慣れば大丈夫なのだろうか。
- バスに乗る乗らないという連絡を教頭がまとめていたが、大変そうだったので、簡単にできる方法はないか。(1ヶ月分の乗車予定を提出してもらい、時間になったらバスは出発することを基本とし、欠席者は学校へ電話連絡するなど。)
- バスは今後、出席等の管理を学校から離していきたい。
- 通学バスの欠席連絡、帰りのバスに乗る乗らないなどの集約方法(今回のようにいくのか10時30分までに書き忘れそう、改善できないか。)
- 通学バスが裏の駐車場に入ってきたが、下校で集まっている1・2年生や裏から下校している子供たちと時間がかぶるので、乗車場所を(プール横)にするなど安全面を考えながら決めてほしい。
- 通学バスの関し、子供たち保護者、運転手、先生方にとってあまり手間がかからず毎日スムーズに運行ができるような方法を。
- 通学バスの乗る乗らないの確認方法
- バスの連絡方法
- 集団下校で通学バスを使用せず、保護者がむかえに来るときの待機場所。待機かにした場合、現熱川小の子供も待機可?

- 縄跳びに力を入れて取り組んでおり技術に優れそれを自信にしていた。統合後もその強みを生かしていきたい。
- 朝運動で縄跳びを年間通して行うのはいいと思う。

- 寒さ対策を考えていくべきかと思う。大川小にはヒーターがあるようなので、かなり寒がっていた。

【別紙 2 - 1】

第 1 回大川小学校・熱川小学校等統合準備会会議録（要旨）

- 1 日 時 平成 29 年 4 月 28 日（金）19：00～ （20：40 閉会）
- 2 場 所 東伊豆町立図書館 2 階視聴覚室
- 3 出席者 須藤裕文、進士 真、佐藤泰志、力石和彦、横山尋司、太田輝美、
星野正雄、柚田雅敏、岩室憲兒、鳥澤善久、野口康子、稲葉 保、
野崎元廣、太田正一
（出席委員 14 名、欠席者：小倉伸一郎、稲葉宣明）
教育委員会：黒田種樹教育長、坂田辰徳

4 あいさつ

◎黒田種樹教育長

本日はお忙しい中、統合準備会にお集まりいただきありがとうございます。

東伊豆町では、昨年 9 月に総合教育会議において、皆様から色々なご意見をいただきながら、大川小学校・幼稚園そして熱川小学校・幼稚園との統合を決定させていただきました。新しい学校づくり園づくりを進めるわけですが、本年度 1 年間をかけて、来年の 4 月に向けての準備を進めていきたいと考えております。

この準備会は、大川小学校と熱川小学校等幼稚園を含めての統合準備会設置規程というものを教育委員会で定めまして、それに基づいて関係する学校・園の先生方、PTA の代表の皆様、そして地域の代表として大川区・奈良本区・北川区の区長会の代表の皆様にもご出席いただいております。そして同じ学区の熱川中学校の校長にも委員として参加していただいております。皆様のご意見をいただきながら円滑な統合が行われるように進めていきたいと思っております。予定としては今後 4 回程度を考えておりますが、内容と協議の進み具合によって回数が変わるかもしれません。また、全体会だけでなく、課題ごとに部会を設け、PTA の皆様での協議や先生方で詰めていただく内容などもあると思っております。この準備会を開催するまでのことですが、各学校・園の PTA の保護者の皆様への説明会を行ってきました。その中で、これまでも統合についての様々なご意見も頂いております。特に大川の保護者の方々からは、通学についての心配など多くのご意見をいただきました。通学については、町としての基本的な考えは、通学用に新たなマイクロバスを購入して安定した通学をご家庭の負担がないような形で準備したいと思っております。幼稚園につきましては、幼稚園の通園バスが現在あるものを大川と白田・片瀬の方に運用する形で進めていきます。また、両校・園の活動と教育については、昨年度から様々な面で行事や学習の交流を進めてもらっております。今年度中に子供達同士が更に間柄を深めて、来年度の統合をスムーズにスタートできるような形を作ってください。PTA におきましては、活動や組織・規約等のそれぞれの調整が必要になると思いますので、PTA 同士の意見交換や協議をいただく中で、地域のお知恵も頂きながら、全体的な統合を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

5 議 事

(1) 大川小学校・熱川小学校等統合準備について

① 本会の設置について

資料：大川小学校・熱川小学校等統合準備会設置規程に基づき、各条の内容を説明した。

② 本会委員の委嘱について

資料：大川小学校・熱川小学校等統合準備会委員名簿に基づき、組織の構成を説明し、委嘱させていただいた。

*各委員自己紹介

*事務局より、大川小・熱川小等の統合を決定するに至った経緯等について、各委員の共通認識を図るため、「資料1」から「資料4」に基づき説明を行った。

③ 各園・学校及び教育委員会の統合準備の状況と課題の検討

資料：「大川小学校・熱川小学校等統合準備について」の各項目に示した、学校行事等の計画や今後必要となる準備・作業について、あらかじめ説明を行った上で、各委員よりご意見等をいただく形とした。

※以降、《ご意見等》、《次回までに行う作業等》の欄で、◆で始まるものは委員からのご意見、*は教育委員会事務局の提案や回答等を記載します。

1 学校行事（交流）等について

（担当：幼稚園長・主任、小校長・教頭）

- 3月 1日 小学校1日交流実施
- 6月20日 大川小水泳（予定）
- 6月27日 小学校1日交流（予定）
- 9月 幼稚園1週間交流（予定）
- 9月15日 小学校1日交流・授業参観・懇談会（予定）
- 10月 幼稚園1週間交流（予定）*熱川幼稚園運動会
- 12月 幼稚園1週間交流（予定）
- 1月29～31日 小学校3日交流

*統合に向けての計画（参照）

《ご意見等》

- ◆上記計画のほか、10月19日は両小学校合同で遠足を計画している。水泳についても6月20日予定となっているが、水泳授業はすべて熱川小にお邪魔してできる限り一緒に行うことが確認されていますので、回数はもっと増えてきます。
- ◆幼稚園では、1週間交流も行いますが、それ以外にも日々の保育の中で、交流しようということで、年間90日以上を設けております。またPTA活動においても保護者にも年2回程交流する企画をしています。

2 統合準備会について

（担当：小校長、教育委員会）

- 4～5回開催予定（必要に応じて部会も開催）
- 会議録（要旨）を作成し、町HP等で公表

《ご意見等》

※特になし

《次回までに行う作業等》

*会議録の公表と各委員への配布。

3 PTA活動について

（担当：両園・両校のPTA運営委員会、PTA担当教職員）

- 次年度以降の新たな組織について協議・検討
 - ・規約の改正・活動事業（奉仕作業等）・協定服について（リサイクル等）

《ご意見等》

- ◆熱川中では、大川地区から二人地区役員を出してもらっています。ただ熱川中と熱川小では地区役員の選出方法も違いがあるため、すり合わせも必要かと思います。また、生徒が数人いても軒数が少ない（役員となれる家庭）といった状況もあるため、全体的な見直しも必要かと考えています。
- *今お話が合った内容など参考に PTA 同士での組織づくりが必要と思いますので、お願いしたいと思います。
- ◆今、熱川小では会長等役員の選出は、どのように行われていますか。
- ◆たぶん6年生の保護者からとなっています。
- ◆また、熱川小で行われている方法等教えていただきたいと思います。大川小は基本6年生の父兄から会長・副会長・会計を出すことになっていますが、諸事情により例外があるわけです。
- ◆学校同志の話し合いでは、最初の1年間は大川からは学級役員さんは出さない方向としてはどうかとの話し合いをしています。確定ではありませんが。地区役員は、わからないところもありますが、必要かと思いません。初めはあまり負担のかからない方向としてはどうかとの話し合いをしています。
- ◆地区役というのは、学年を問わず1人出すということですか。それとも・・・
- ◆現在は、学年は決められない状況なので、全部6年生とはいきません。すべての学年が対象となる状況です。
- ◆地区役は、地区の方で決めていただきます。学校は一切タッチしません。
- ◆会長・副会長については、選考委員会（次期6年生の保護者）を設けて選出します。
- ◆小学校だと地区役の人たちが子供会も運営することが多いですね。中学になると今度は、育成会を動かしたりしています。大川と少し違うところですか。
- ◆最初は、大川の人の負担を考えてといったお話があったが、私の個人的な意見だが、ある程度の立場の人が組織に入ってもらい、大川の意見も反映された方が良くと思っています。
- ◆幼稚園では、地区役ではなくて全体の中で選出する形です。基本は、年長から会長と副会長（二人）を選出します。負担もあるかもしれませんが、協議しながら良い方向性を出していきたいと思っています。
- ◆協定服もこれは PTA の方で進めていくことですか。
- *協定服は、PTA で協定を作っています。何十年も前となりますが。教育委員会や学校の指定の服ではありません。PTA の皆様の総意で作られたものです。PTA で相談していただくこととなります。例えば6年生があと1年のために購入というのいかなものかなどありますが、熱川小ではリユースなども行われていますので、その利用や見直しなど今後のことについても話し合っていたきたいです。
- ◆名札の問題などもあります。
- ◆次回までに行う作業として、組織編制の具体案作成など書かれています。この会とは別に協議していく必要がありますよね。それは両校の

PTA 同士に任せるといえることですか。

*そういう形でお願いします。

*すみませんが、すべての部分を教育委員会でやるのはできないものでお願いします。

《次回までに行う作業等》

○次年度以降の組織編制の具体案協議と方向性の確認

○次年度以降の奉仕作業等 PTA 活動案協議と方向性の確認

4 閉園・閉校記念誌、記念品制作について

(担当：教育委員会、大川幼主任・大川小教頭、PTA 代表)

○別紙 1：大川幼稚園・大川小学校閉園閉校記念誌制作について
(記念誌の内容案)

○スケジュール確認 (H30 年 1 月：製本業者へ依頼予定)

・資料収集・原稿依頼と締切日

《ご意見等》

◆記念誌制作について、大川小では統合と同時に閉校という二つの仕事をやっていくわけですが、記念誌については、予算立ては委員会の方で行われていますか。記念品も含めて。

*教育委員会で予算計上しております。記念品についてはこれからです。必要なものは町の予算で賄うことで考えています。

◆自分の方でも記念誌案をダウンロードしてきました。

*ありがとうございます。現段階では、南伊豆の三浜小の例を参考にしました。今後、構成や原稿など依頼させていただく予定ですので、ご協力をお願いします。

《次回までに行う作業等》

○5 月：部会を設置し、内容確認と仕事分担、記念品の決定

○6 月：資料収集呼びかけと原稿依頼

5 閉園・閉校式典について

(担当：教育委員会、大川幼主任・大川小教頭、PTA 代表)

○閉園・閉校式の日程調整 (離任式と同日?)

○閉園・閉校式の次第 (内容) の検討

○出席者原案

○記念品の選定：校歌 CD 制作、校歌オルゴール制作 (両方制作するか?)

《ご意見等》

◆閉講式の場所は、どう考えていますか。

*それが大きな課題です。大川小には集会室があるだけです。50 人くらいが限界です。これまで大川小に関わっていただいた方々に来ていただきたいと考えていますが。天気が良ければグラウンドでできますが。例えば各教室に分かれて校内放送で流すなど、今後考えていきますので、皆様からもアイデアをお願いします。

◆大川小で行うとして、この間 WEB 授業で行ったようにテレビ回線で行う方法もあります。

《次回までに行う作業等》

- 5月：部会設置（記念誌制作部会と兼ねる）、次第（式典内容）案確認
- 6月：次第（式典内容）案確認、出席者原案、記念品選定

6 大川幼・小の備品・文書処理について

（担当：教育委員会、大川幼主任、大川小教頭・事務）

- 移動・整理（廃棄）備品の確認（備品台帳との照合、他校要望品の調整）
- 大川小跡地利用との関係
- 図書の整理
- 文書処理（文書管理規定の確認）
- 備品及び文書の移動・廃棄作業
- 給食費等金融機関との調整

《ご意見等》

※特になし

《次回までに行う作業等》

- 移動備品確認検討（両園主任、両校教頭・教科主任・事務）
- 備品台帳との照合（園主任、教頭・事務）
- 文書管理規程確認（教育委員会）
- 耐火鉄庫内整理（大川幼主任、大川小教頭）
- 耐火鉄庫内確認（園長・主任、校長・教頭・教務・事務）

7 教育課程、学習指導、生徒指導について（担当：両園・両校）

- 教育課程（教務主任）
 - ・両園両校擦り合わせ：本年度実施内容、次年度計画等
- 学習指導（研修主任）
 - ・両園両校確認：研修内容（基礎学力等）、各教科学習状況等
- 生徒指導（生徒指導主任）
 - ・両園両校確認：学校のきまり、地区会、児童会組織等

《ご意見等》

◆なるべくスムーズに子供達が抵抗なく熱川小へ順応できるように学校のきまりも熱川小のきまりに近づけていこうといった取り組みもそれぞれの主任同士で話し合い、今年度、若干、大川小のきまりも変えて、実際に動いている次第です。児童会組織の方も熱川小の方で色々と考えてもらっているのが大まかな現状です。

◆3月1日に小学校の1日交流ということで生活を共にしております。事前に2月15日に各学年ごとに教職員も情報交換を行い、子供達がスムーズに生活になじめるような配慮を行いました。今、お話に出ました生徒指導教務会を開催し、お互いの学校の色んなルールだとか擦り合わせをしているところです。今度6月27日の小学校1日交流にも同じようにバスを利用し、給食も一緒に取る交流も予定しております。そのために6月14日には職員の打合せも行います。

*4月26日に大川幼・小の保護者の皆様に説明会を開き、ご意見を伺う中で、緊急時・有事の際等の対応について心配されているといった

意見があったことから、現在行われている熱川小の対応等について、説明をお願いできますか。

◆危機管理対応マニュアルを作成しております。色々なことが想定されるが、地震等災害・不審者・放課後児童クラブ組織との整合性等において、午前中で子供達が早退する場合はこうしようとか、午後に学校に留め置く場合の連絡の仕方など細かく作っております。たぶん大川小も同じようなものができていると思います。皆さんにご意見をいただきながらより良いものを作っていきたい。

*その時に出た意見は、具体例として、これまでは子供の具合が悪くなったときは、学校から電話をもらい、保護者が仕事の場合、祖父母が徒歩でお迎えに行くことができたが、熱川となると車がないので、どうしたらよいですかといった内容でした。今後そのような内容も想定したマニュアルとしていただければ安心されると思います。

◆一般論ですが、学校が保護者の迎えを依頼した場合、緊急を要する場合は学校が対応することは当然想定しております。できるだけ保護者の方に連れて行ってもらうのが一般論ですが、もちろんそういった場合の想定はしております。

*また、次回にはそのマニュアルもお示し頂けたらと思います。

《次回までに行う作業等》

○現在の熱川小の危機管理対応マニュアルを提出する。

8 通園・通学バスについて（担当：教育委員会・園・学校）

○交流計画の中で実際にバスを運行し、運行方法等検討（運行計画・実施体制）

《ご意見等》

◆4/26（大川地区保護者説明会の折）に出た話ですが、学校を欠席する場合、今までは学校に電話し了解しましたとのやり取りで済みましたが、スクールバスとなると運転手の方が名簿等で人数を確認といったことになろうかと思うのですが、その時の運転手さんとの情報のやり取りについて、子供に伝言するといった内容も出た、しかし、それだと子供のことなので忘れてしまうことも想定される。そこで出た話として、父兄から学校に連絡を入れ、学校から運転手にその情報を伝えてもらえたらありがたいなといった意見がありましたがいかがでしょうか。

*その対策についてですが、3/1の交流では、学校の先生が同乗したので問題なかったわけですが、今後予定されている交流の際には、実際に近い形でのバスの運行を行い、課題となる事項を洗い出し、より良い形を学校とともに作っていきたいと考えています。また、来年の4月にスタートするわけですが、色々な課題が出てくると思います。一つ一つ改善していきたいと考えます。

*スクールバスについて、北川地区の子供も利用していただきます。園バスについても同様です。これまでは、園バスについては、北川は学区の関係で利用できませんでしたが、要望も頂いておりますので、利用できることとします。白田片瀬はどうなんだといわれるとその要望

には応えられないのですが、そのような方向で考えています。

- ◆バスについて、運行の本数についてですが、朝は1便と思います。帰りはどのようにお考えですか。
- * 昨年説明会の中で回答した内容ですが、朝は1便、帰りは2便というように回答しております。また相談の中で決定することとなります。
- * 現実問題として、3回、4回というのは難しいので、考えているのは、低学年のために1便、そして、高学年というか完全下校時に1便を基本線に考えています。資料3の2ページに通園通学バスについて、提案しています。朝は7:00出発となっていますが、相談の中で少し遅くできないかとも考えています。下校は低学年が5時限を終了した時と高学年が6時限を終了した時とし、説明しております。幼稚園も8:00となっていますが、幼稚園については教諭の同乗が必要ですので、これも検討し、同乗が可能な時間帯に設定していきます。皆様のご意見も頂きたいと思っています。
- ◆ 3/1は、大川小を7:00出発しましたが、かなり早く着いてしまった。したがって、7:15出発で今後計画しています。しかし、北川を考慮していないので、変更も必要かもしれません。
- ◆ 小学校の5時限と6時限は、何時に終わりますか。
- ◆ 大川と熱川ほぼ同じ時間です。(大川は14:35、熱川は14:30)
- * 終わりの会の時間も提案では考慮しています。
- ◆ 例えば早く終わる日もあると思いますが、そういう時は時間の調整をしていただくわけですね。
- * もちろんそうなります。緊急でなければ予定が、あらかじめ伝えられます。また、1年生は4月の2週間ぐらいは早く終わりますので、この時期は3便が必要になるかもしれません。
- ◆ そういった場合でも同じバスで同じ運転手さんになるのですか。
- * そこは何とも言えませんが、基本的には園バスは、この人。スクールバスは、この人。といった形にしたいと思っています。
- ◆ 町の職員の方ですか。
- * はい、そうです。
- ◆ 例えば、1か月前くらいに学校から予定を入れて、この日は何時等々やり取りする形になりますか。
- * そういった、やり取りが必要になると思われます。
- * 現在、幼稚園はどのような形ですか。
- ◆ 幼稚園では、年間計画を立ててその通りに運行してもらっています。
- * その年間計画が基本となり、臨時的なものは、その都度連絡を取り合うわけですね。学校も基本的には同じ形でお願いしたいと思います。
- ◆ 先ほどの4月の初めは3回出してもらおう等、わがままを言っても大丈夫でしょうか。
- * できる限りの範囲で対応ということになります。現時点では、2人の運転手で回す予定なので、配慮いただくことも考えられます。
- ◆ バスの運行で欠席する場合や下校時もそうなんです、例えば放課後児童クラブを利用している子供の対応も出て来るとは思いますが、そういうのも全部、教頭先生からバスの運転手さんに、例えば、1便が誰々、2便が誰々といった連絡をするわけですか。教頭先生にはかなり負担

がかかることになると思うが。

- ◆幼稚園はどうしていますか。
- ◆幼稚園は、教員が同乗していますし、バスのところまで保護者が送ってきますので、やり取りは比較的容易にできます。
- ◆いずれにしても統合の問題の時に色々あったが、通学通園途中の有事の対策など心配が無いようしっかりとお願いします。
- *バスに乗る確認は、先生方大変ですが、乗った・乗らないの確認は必要ですので、申し訳ないがお願いすることになると思います。
- ◆すごく大事なことだとはとは思いますが、個人的な思いですが、バスは何時に出発して何時に着くといった、そのルートだけ確認しておいて、運転手さんが誰が乗った・乗らないというのを確認しながら行う必要はないかなと思っています。親が今日休みますと学校に連絡をいただければ、それだけで済むのかなと思います。大川の子供達が、しっかりしていて運転手に連絡できれば何も問題はないが、できなければバスを動かさないということになります。他の子にも迷惑となりますし、時間を決めておいて、欠席するときは学校に連絡する。運転手さんは時間になったら出発する。若干の臨機の対応ならば良いと思うが、そこまで運転手に管理させるのは、どうかな？大変ではないかなと自分は思います。
- ◆そうなる例えば、今の時点では、7:00に出発となっています。子供が5分・10分寝坊したら（もちろん寝坊はだめですが）、確認せずに出発するということですか。
それは、出発時間は守らなければいけないですが、今までですと家を7:00に出ようが7:05に出ようが走っていけば間に合う範囲だったわけですから、バスを利用するといった、環境ががらりと変わるわけですから、余裕というか、全く初めてのことなので、最初の1年間くらいは考えていただけないか。もちろん何時出発なので、時間を守るように子供には言いますが、その辺を今後相談にのってほしい。
- ◆停留所に向かっていることがわかっている、もう少しというのであれば、もちろんわかる話だが、それを学校が受けて、運転手に電話してということがすんなりできればいいですけど、上手にできるかどうか心配です。
- ◆お互いが初めてのことなので、心配です。運転手さんが専用の携帯を持ってきて、学校と連絡を取り合えば済むことではないかと思うのですが。
- ◆運転手さんが誰々が来ない、学校に連絡し、どうなっているか確認するわけですね。
- ◆先ほど言ったとおり、10分15分遅れは当然いけないので出発しますと告知していただいて結構ですが、休みのときの連絡方法はそうしていただきたいなと思います。
何時になったら出発だと子供にももちろん教えますが、馴れるまで一定期間猶予をお願いしたい。
- ◆こちらもち気持ちは、わかります。
- ◆すみませんが、バスに乗る人は何人ですか。
*現在、大川小は19名です。

*バスは、南伊豆町などは路線バスを利用して登下校しています。こういった場合は、遅れたら自己責任となりますが、今回教育委員会で考えているのは、町のマイクロバスを通学バスとして利用することを考えておりますので、乗った・乗らないの確認も教育委員会としては取らなければいけないと思っています。そのためにはどのような連絡体制で運転手さんが人数を把握する方法を考える必要があります。子供がバスまで向かう途中で何か事故や事件に巻き込まれる可能性もあるわけですから、また、小学校のバスについては、職員の同乗が勤務時間の関係でできないこともあるため、良い方法を相談していきたいと考えています。

◆時間を決める、守らせるというのは確かに教育の一環である。今後の詰めの中で協議していただきたい。

◆時間について、私の子は、バスで通学しています。2年生ですが、一人で間に合うようにやっています。守らなければならないことだが、人数把握等について良い方法を考え、実施していただきたい。

*検討させていただきたいと思います。

◆大川での説明会の時にも出ていた話ですが、大川公民館の前を停留所とした場合、7:00は路線バスがそこに止まっている時間です。そこはかぶらないように大丈夫でしょうか。

*3/1には、やはり路線バスがいたため、農協の前を使わせていただきました。その土地は、お寺の土地でJAが管理していると聞いておりますので、使用について、お願いに上がる予定です。

◆消防団にも話しておく必要がある。

*双方に、使用についてお願いし、確保したいと考えています。

◆消防団のところから公民館側は町の管理かもしれません。

*確認します。

◆例えば雨の時は避ける場所が無いように思いますが、結局、子供達は傘をさして待っているということになりますか。

◆現在の小学校を道路改良して停留所とするのは。

*できると良いですが、難しいと思っています。

◆東海バスは、7:05ぐらいに出発します。なので7:15に出発しようとして大川小は考えています。北川も3人くらいですので大丈夫かと思っています。また、警報が出ていた場合の対応としても7:15ならば各家庭の対応も可能かと思っています。公民館ならば多少は雨もしのげます。

*それで試してもらいたいと思います。

◆いずれにしても、今後検証していくことですね。

《次回までに行う作業等》

※交流計画等で検証していく。

9 大川小学校跡地利用の検討について（担当：町）

○町企画調整課と大川区において、協議・検討中

《ご意見等》

※特になし

10 保護者・地域への説明会開催について（担当：教育委員会）

- 4月13日熱川幼・小PTAに対し実施
- 4月26日大川幼・小PTAに対し実施
- 随時開催（共に計3回程予定）

《ご意見等》

※特になし

《次回までに行う作業等》

※特になし

11 その他

- ◆今回、統合することについて、熱川の子供や保護者から何か心配事など話は出ていますか。僕たちは、説明会の折「あれも、これも」と話してきたわけですが。
 - *熱川小・幼稚園の地域でも何回か説明会を開催しましたが、特にこうしてほしいといったご意見はありませんでした。
- ◆失礼かもしれませんが、今回PTAとなり認識した状態なので、先ほどからお話にあるように、PTA同士で話し合っていきましょう。
- ◆大川小の子供たちが来て新しい熱川小が始まるわけですが、「さあ始まるよ！」（開校式）といった式は設けていただけないのでしょうか。
 - *提案できるものはない状態ですが、何らかの形で開校式的なものは、必要だと思っています。入学式に合わせるか別にするか検討が必要ですが、やりたいと思っています。
- ◆大々的にやりたいとは言いませんが、お願いします。何も無いのは大川の子に失礼かと思いました。
- ◆自分は「大川の子に熱川が、いいよ、おいで、おいで。」みたいな感じは出してほしくない。吸収合併ではない。あくまでも新しいスタートとして行ってほしい。
- ◆熱川小では、新生熱川小になるんだよと子供達に呼びかけています。皆様のご協力をお願いします。
- ◆大川小のPTAは子供会も兼ねています。統合するとかなり活動が制限されると思われます。例えばお祭りの日は、1日休みでした。今度は半日となるのか？そうすると区とも関係が出てきます。
 - *白田地区、片瀬地区にも大川と同じようにお祭りや地域行事などあると思いますが、その調整はどうのようになっていますか。
- ◆各区からの要請により、例えば何々区はお祭りなので子供達を何時に帰してくださいとの連絡があるので、それに応じた調整をしておりますので、大川についても相談と調整をすることになります。

* この会の会議の内容を整理した上で、会議録を作成し、皆様にお送りします。
第2回目は、2か月後の平成29年7月下旬と報告した。

6 閉 会 （須藤裕文会長）

長時間にわたりご協議、ありがとうございました。それぞれの会合等で着々とお話を進めていただき、子供達がより良い形で熱川小へ通える環境作りをここにいる皆様の力を借りて進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたしま

す。本日はありがとうございました。

【別紙2-2】

第2回大川小学校・熱川小学校等統合準備会会議録（要旨）

- 1 日 時 平成29年7月25日（火）19:00～（20:15 閉会）
2 場 所 東伊豆町立図書館2階視聴覚室
3 出席者 須藤裕文、進士 真、佐藤泰志、力石和彦、横山尋司、太田輝美、
星野正雄、小倉伸一郎、柚田雅敏、岩室憲兒、鳥澤善久、野口康子、
稲葉宣明、野崎元廣、太田正一
（出席委員15名、欠席者：稲葉 保）
教育委員会：黒田種樹教育長、坂田辰徳

4 あいさつ

◎須藤裕文会長（熱川小学校長）

前回4月28日に第1回準備会が行われ、本日は第2回目となります。本日も皆様よりご意見をいただきながらこの会を進めていきたいと思っております。昨日、町内小中学校の1学期終業式が行われ、子供達が元気に過ごせる35日間の夏休みになるよう願っております。今日はよろしくお祈りいたします。

◎黒田種樹教育長

第2回目の準備会にご出席いただきありがとうございます。須藤先生より話がありました通り、子供達は夏休みに入り、1学期が終わりました。前回の準備会は4月で、1学期の初めの頃だったので、日が経つ速さを感じております。3か月ほど経ちましたが、前回皆様に統合に関する課題、それから準備すべきこと等につきまして、確認していただきました。そして、この3か月の間にそれぞれの立場・機関ごとに確認をしていただいたことや準備を進めていただいたことが、たくさんあると思っております。今日はそれらを確認していただきながらどこまで進んでいるのか、そして統合までにあと何を準備すればよいのか、ご意見をいただきながら教育委員会としてもやるべきことを確認させていただきたいと思っております。ぜひ、よろしくお祈りいたします。

5 議 事

(1) 大川小学校・熱川小学校等統合準備について

① 各準備すべき事項の進捗状況の報告と課題の検討

この会の進め方として、資料：「大川小学校・熱川小学校等統合準備について（平成29年7月25日現在）」に示した項目毎に、この3か月の間に行われた準備等の状況について、あらかじめ説明と報告を行い、その内容について、各委員よりご意見・ご質問・ご提案をいただきながら、今後必要となる準備や作業について確認していく事とした。

※以降、《ご意見等》、《今後の作業等》の欄で、◆で始まるものは委員からの報告やご意見を記載、*は教育委員会事務局の回答や検討状況等を記載します。

1 学校行事（交流）等について（担当：幼稚園長・主任、小校長・教頭）

《小 学 校》

- 3月 1日 小学校1日交流実施
○6月20日～ 大川小水泳事業実施（5日間）
○6月27日 小学校1日交流実施

○9月15日 小学校1日交流・授業参観・懇談会（予定）

○1月29～31日 小学校3日交流

《幼稚園》

○9月 幼稚園1週間交流（予定）

○10月 幼稚園1週間交流（予定）*熱川幼稚園運動会

○12月 幼稚園1週間交流（予定）

※幼稚園では、上記以外にも交流を予定。（年間約90日）保護者交流も2回開催予定。

※統合に向けての計画（参照）

《ご意見等》

◆熱川小と大川小それぞれの児童が、統合するのが楽しみと思えるよう努めていかなければならないと思っています。しかし、子供達は、少し緊張感があるようです。低学年になるほど精神的に楽に感じているようですが、高学年はそうはいかないようです。少しでもリラックスできるように努めていきたいと思っています。それに合わせて大川小の良さを熱川小に引き継ぐためにどんなことができるか、27日に集まって話し合う予定です。

◆バスの出発時刻ですが、3月の時は、大川を7:00出発でしたが、6月の交流では、7:15出発としました。おおむね7:30に到着し、その時刻でも朝の自主トレーニングなど充分間に合いました。今後も7:15出発で児童の朝の活動など十分に可能かなと思っています。

2 統合準備会について（担当：小校長、教育委員会）

○第1回4/28開催・第2回7/25開催、今後2回程度開催予定
（必要に応じて部会も開催）

○会議録（要旨）を作成し、委員に配布するとともに町HP等で公表。

《ご意見等》

※特になし

《今後の作業等》

*会議録の公表と各委員への配布。

3 PTA活動について

（担当：両園・両校のPTA運営委員会、PTA担当教職員）

○次年度以降の新たな組織について協議・検討

・規約の改正・活動事業（奉仕作業等）・協定服について（リユース等）

○5/31・6/29に行われた大川小・熱川小両PTA統合会議の内容について、大川小進士校長より下記のとおり、報告。

○6/6・7/4に行われた大川幼・熱川幼両PTAの会合の内容について、熱川幼太田園長より下記のとおり、報告。

《ご意見等》

◆PTA規約については、双方で規約を交換し内容を確認済み。

H30年度役員選出については、熱川小の役員組織について理解を図り、H30年度PTA役員への関わり方について、双方で検討した結果、学校事情もわからない状況を鑑み、地区役員について他の地区と同様に役員を出したらどうかとのことで、両方の役員から報告された。但し、児童

数的には、1名の地区役員数となるが、複数体制の方が、心強く、31年度への引継もスムーズに行けることから、2名の地区役員の選出も視野に入れ、検討中。大川小の9月の役員会で確定していく予定。

協定服については、1年間協定服を着なくても良いという猶予があっても、皆が着ている中、大川小の子どもだけが着ていないのは違和感がある。また、修学旅行等でも困ると思われる。

熱川小でリユースを呼び掛けているが、なかなか集まらない状況。そのため、大川小児童全員の協定服をリユースで賄うのは不可能。

リユースでないサイズを新品で補った場合、新品の子と中古の子が出て、かわいそう。また、協定服も高額であり、兄弟がいる家庭ではすべて購入するのは厳しい。

大川小役員会としては、子供達全員に新品の協定服を着させて統合を迎えさせてあげたい。そのため、町で協定服を購入し、リユースとして取り扱えたらと考えている。大川小PTA予算の残額も購入資金として活用することを考えているが、それだけでは、足りないため、町の予算化を強く要望したい。

*ただ今、報告がありましたとおり、協定服については大きな問題であると町も受け止めています。PTAのリユース活動は、良い制度であり、これを活用し大川の子供達にも準備できればと思っておりましたが、サイズ等の問題により中々難しい、全てが揃う見通しが立たない現実があります。そこで、あるものは使っていないものを町で準備と考えましたが、大川のPTAの皆様より、新品とそうでないものが出るのは子供達に辛い思いをさせるとの意見により、我々もそれを理解できますので、町長と相談し、大川のすべての子が新品を着て新年度を迎えられるよう町で揃えたいとの基本的な考えにたって進めております。町長も協定服のことで子供達が困ることの無いよう考えております。

◆幼稚園においても6/6には双方のPTAによる会合を開きました。そして、7/4にはその内容を踏まえ、幼稚園教諭での打合せを行っています。その内容は、PTA組織、役員選出等についてです。保護者の不安を軽減するため、最初は大川からも2名役員を選出してはとの意見がありましたが、少ない人数の中から2名の選出は難しく、本年度からPTAの活動には大川の保護者にも参加していただいて、活動の機会や関わりを持つ機会を作っていますので、平成30年度については、これまで通り熱川幼の規約のままでスタートすることになりました。

◆教育長より、協定服について町長さんとも相談されてこれから進めていくということですが、それはテーブルに乗っていると考えてよろしいでしょうか。

*教育委員会の考えには町長も賛同してくれています。しかし、町の予算ですので、議会の承認を得なければ決定とはなりませんので、方向性としては、町で準備する方向で考えているということは合意済みです。

◆協定服のことで確認なんですけど、町で予算化を是非お願いします。そこで夏服冬服があると聞いていますが、両方なのかそれとも入学時の冬服のみなのかいかがでしょうか。

*協定服に夏・冬はありません。紺色の協定服とズボン又はスカートと

なります。

《今後の作業等》

- 次年度以降の組織編制の具体案協議と方向性の確認（継続）
- 次年度以降の奉仕作業等 PTA 活動案協議と方向性の確認（継続）

4 閉園・閉校記念誌、記念品制作について

（担当：教育委員会、大川幼主任・大川小教頭、PTA 代表）

- 「大川幼稚園・大川小学校閉園閉校記念誌制作について」（別紙 1 参照）
6/7 及び 7/11 に打ち合わせた内容を別紙 1 に基づき報告した。
- H29 年 11 月までに資料等を整え、整い次第発注する。
- 資料収集依頼済み、寄稿文依頼済み（9 月末提出期限）

《ご意見等》

※特になし

《今後の作業等》

※引き続き記念誌・記念品の制作準備を行う。

5 閉園・閉校式典について

（担当：教育委員会、大川幼主任・大川小教頭、PTA 代表）

- 「大川幼稚園・大川小学校閉園閉校式典について」（別紙 2 参照）、6/7 及び 7/11 に打ち合わせた内容を別紙 2 に基づき報告した。
※式典日程は、平成 30 年 3 月 24 日（土）に決定。
※会場は、大川小グラウンドにて開催。（大川区・奈良本区所有の祭典用テント借用を検討。）

- 式典招待者、検討中。
- 記念品は、大川小校歌オルゴール制作に決定。

《ご意見等》

※特になし

《今後の作業等》

※引き続き式典に向けて準備を行う。

6 大川幼・小の備品・文書処理について

（担当：教育委員会、大川幼主任、大川小教頭・事務）

- 移動・整理（廃棄）備品の確認（備品台帳との照合、他校要望品の調整）
- 大川小跡地利用との関係
- 図書の整理
- 文書処理（文書管理規定の確認）
- 備品及び文書の移動・廃棄作業
- 給食費等金融機関との調整

《ご意見等》

※特になし

《今後の作業等》

- 備品台帳照合、移動備品確認・検討（園主任、小教頭・教科主任・事務）
※熱川幼小、町内園小中、町内教育施設、大川区・町の順に利活用備品を検討し、移動・残留・廃棄準備を行う。
- 文書管理規程確認（教育委員会）

○耐火鉄庫内整理・確認（大川幼主任、大川小教頭）

7 教育課程、学習指導、生徒指導について（担当：両園・両校）

○教育課程（教務主任）

・両園両校擦り合わせ：本年度実施内容、次年度計画等

○学習指導（研修主任）

・両園両校確認：研修内容（基礎学力等）、各教科学習状況等

○生徒指導（生徒指導主任）

・両園両校確認：学校のきまり、地区会、児童会組織等

○大川小保護者の皆様が気にかけている、有事の際の学校の対応について、「熱川小学校安心安全のための危機対応マニュアル」について、学校のきまり等を踏まえ熱川小須藤校長より報告。（別紙のとおり）

《ご意見等》

◆危機対応マニュアルについてですが、不審者等が報告された時のところですが、僕らサラリーマンの場合、通勤途中で事故等があった場合、決められたルート上での事故は、労災がききます。通学途中で不審者等事故等にあった場合の責任のあり方、学校の監督下はどこからどこまでか。お聞きしたい。

*子供が通常の通学路を外れて、事故等に遭遇した場合、学校では、危険な場所や危険なことに合わないために、子供達に指導しています。通学路を外れての事故の場合、責任の所在となると、今は何とも言えませんが、学校と家庭とで子供に対し指導していただきたいと思えます。学校生活中の怪我等については、スポーツ振興センターの保険が適用されます。通学時についても対象となります。

◆有事の際の子供の引き渡しについてですが、保護者が迎えに行けない場合の確認の仕方など教えていただきたい。

◆学校では、引き渡しカードを作っています。誰に引き渡すのか氏名が登録されています。保護者・祖父母。親戚の方すべて名前を記入したカードに基づき、確認したうえで引き渡しを行っています。

◆大川小も同じです。登録されていない方には、子供を引き渡ししません。
*大川地区の説明会の時にもあった話ですが、保護者や祖父母などどうしてもお迎えに来られない場合もあると思います。その場合には、学校に留め置いてご両親等来られるまでは、学校で子供をお預かりします。どこの学校も同じです。

◆例えば保護者から誰々さんを迎えに行かせるという場合でもダメか。

*カードに登録されていなければ、基本的には引き渡ししません。電話というものは、錯綜して確認が正しく取れない場合がありますので、学校としてはできません。

◆いろいろなケースがありますが、学校から連絡し、確実な確認が取れない限り行いません。

◆大雨・暴風の時、必ず迎えに来てもらうのか、それとも危険な場合には、学校に一晚留め置くこともあるのか。

◆資料にあるとおり、あくまでも原則としてなので、学校においた方が安全と判断されれば、当然学校に留め置きます。その時の危険度によります。

*有事の際、帰すことができない場合のために、学校に数日いることを想定して、水や簡単な食料を個々で準備し揃えています。

《今後の作業等》

※引き続き、より良い統合に向けて協議検討しすすめる。

8 通園・通学バスについて（担当：教育委員会・園・学校）

○交流計画の中で実際にバスを運行し、運行方法等検討（運行計画・実施体制）、「別紙3 登下校時児童通学バスへの欠席（遅刻）連絡方法」により、9月15日の小学校1日交流の時に実施し、課題等の検証を行う。

《ご意見等》

◆スクールバスの件ですが、バスの大きさ・何人乗りは決められていますか。

*運転手を含め、29人乗りを準備する予定です。

◆来年度の利用者は。

*大川から19名、北川から4~5名が乗車する予定です。

◆席に余裕が出た場合、中学生の利用は考えていませんか。

*基本的には、中学生の利用は考えていません。先程、別紙3により連絡方法等を説明しましたが、人員の確認・把握など難しいと思われま
す。また、中学生の登校時間帯と小学校時間帯には差があります。管理上できないと思っています。

ただ、町長は、前々から中学生の電車通学についても保護者の負担が大きいことから、この補助など考えております。バスではなく違う形での通学援助を検討しております。

◆別紙3の通学バスの連絡方法についてですが、何かあった場合には、運転手が学校に連絡して出発ということになっていますが、安全第一を考えると何もなくても出発する旨の連絡を学校に一報入れてから出発した方が良いのではないかと感じました。確実に出発したことを学校が知っていた方が良いのではないかと感じました。

*それは確実な方法と思いますので、追加させていただきます。ありがとうございます。

◆9/15に説明のあった方法で行ってみたいとのことですが、この時は、北川の子供の利用はできますか。

*順番として、まずは、先生方がいない状態での大川との連絡方法を確
認してみたいと考えていることから、北川の子の利用は1月の交流からとさせていただきます。

*バスのことで付け加えさせていただきますが、熱川小の発着場所をプ
ールの前の駐車場を使うこととしていましたが、6/27の交流の時は、
雨のため下校時にそれぞれお迎えの車などで大変混雑したそうです。
このため、学校前の職員駐車場に変更したいと考えています。

◆下校時は2便となっていますが、学校が終わりすぐに帰るとなると子供達にとっては遊ぶ時間・交流する時間などもない、個人的な考えですが味気ないのではとも思います。きりがいい話かもしれませんが、自由度を広げるような、方法として3便に増やすとか少し考えていただくことはできませんか。

*すべての子供の要望に応えるようできればよいですが、現実難しいの

で、現段階では、運転手の負担等もありますので、低学年用・高学年用の2便を基本に考えています。人数の確認・安全管理の面で、まずは確実な対応を取る必要がありますので、ご理解をお願いします。

しかし、今後、子供達の様子等により統合した後でも良い方法を検証し、変更は可能と考えています。

《今後の作業等》

※交流等で別紙3のとおり実施し、検証していく。

9 大川小学校跡地利用の検討について（担当：町）

○町企画調整課と大川区において、協議・検討中

《ご意見等》

◆大川小の跡地利用については、どうなっているか教えていただけませんか。

*大変申し訳ありませんが、教育委員会よりお応えできることはありません。

10 保護者・地域への説明会開催について（担当：教育委員会）

○4月13日熱川幼・小PTAに対し実施

○4月26日大川幼・小PTAに対し実施

○6月1日に地域説明会を開催（別紙4 説明会記録参照）、別紙4 地域説明会記録（要旨）に基づき、その概要を事務局より説明した。今後も2回程度開催予定。

《ご意見等》

※特になし

《今後の作業等》

※計画のとおり、8月に説明会を開催する。

11 その他

◆もうすぐお祭りに時期になりますが、熱川小学校では、各地区のお祭りの対応は、どのように行われていますか。

◆昨年度は、お祭りで1日休む子はいませんでした。各区よりどこの地区の子供達を何時までに来させてほしいとの要請により、それに応じて子供達を帰すようにしています。区の要請に応えるかたちです。

◆大川地区の要請の形を教えてください、来年度に備えたいと思います。

◆北川の場合は、長年、午前中が終わったらお祭りに参加させてもらうようお願いしています。

◆地区によっていろいろな形があります。

*この会の会議の内容を整理した上で、会議録を作成し、皆様にお送りします。引き続き、それぞれの機関において準備をお願いし、その結果報告や新たな課題の検証を行うため、第3回目は9月又は10月に開催したいと思います。

6 閉 会（進士 真副会長 大川小校長）

今日は、長時間にわたりご協議ありがとうございました。望ましい統合のあり方ということで、皆様のお知恵をお借りしながら進めていきたいと思っております。本日はありがとうございました。

【別紙2-3】

第3回大川小学校・熱川小学校等統合準備会会議録（要旨）

- 1 日 時 平成29年11月21日（火）19：00～（20：15閉会）
2 場 所 東伊豆町立図書館2階視聴覚室
3 出席者 須藤裕文、進士 真、佐藤泰志、力石和彦、横山尋司、太田輝美、
星野正雄、小倉伸一郎、柚田雅敏、岩室憲兒、鳥澤善久、野口康子、
稲葉 保、太田正一
（出席委員14名、欠席者：野崎元廣、稲葉宣明）
教育委員会：黒田種樹教育長、坂田辰徳（傍聴者：1名）

4 あいさつ

◎須藤裕文会長（熱川小学校校長）

本日はご出席いただきありがとうございます。第2回のこの会合が7月25日でしたので、4か月ぶりの会合となります。それぞれの担当ごとに準備が進められておりますので、本日はその進捗状況を確認するとともに皆様からご意見をいただき、より良い統合、そして新生熱川小学校の開校につながる会になるようよろしくお願いいたします。

◎黒田種樹教育長

本日はご出席いただきありがとうございます。ただ今会長からお話がありましたとおり第2回は7月25日、第1回目は4月28日でしたので、そこから半年、皆様に準備の話し合いを進めていただいております。遡りますと大川地区と熱川地区の皆さまには統合の関する色々な話し合いを行わせていただき、ご意見をいただいて現在に至っております。残すところあと4か月となりました。色々な面で準備や子供達の事を考えていただきここまで来ております。沢山の事を形作っていただきましたし、あともう少し協議して詰めていかなければならない事もあります。今回ともう1回2月に開催の予定ですが、子供達のために新しい教育の形の準備をさせていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

5 議 事

(1) 大川小学校・熱川小学校等統合準備について

① 各準備すべき事項の進捗状況の報告と課題の検討

この会の進め方として、資料：「大川小学校・熱川小学校等統合準備について（平成29年11月21日現在）」に示した項目毎に、この4か月の間に行われた準備等の状況について、あらかじめ説明と報告を行い、その内容について、各委員よりご意見・ご質問・ご提案をいただきながら、今後必要となる準備や作業について確認していく事とした。

※以降、《ご意見等》、《今後の作業等》の欄で、◆で始まるものは委員からの進捗状況の報告やご意見を記載、*は教育委員会事務局の回答や検討状況等を記載します。

1 学校行事（交流）等について（担当：幼稚園長・主任、小校長・教頭）

《小 学 校》

- 3月1日 小学校1日交流実施
○6月20日～ 大川小水泳事業実施（5日間）
○6月27日 小学校1日交流実施

- 9月15日 小学校1日交流実施（授業参観・懇談会も実施）
- 10月19日 熱川・大川両小学校合同遠足 *雨天中止
- 1月29～31日 小学校3日交流（予定）

《幼稚園》

- 9月 幼稚園1週間交流実施
 - 10月 幼稚園1週間交流実施
*10/5 熱川幼稚園運動会（大川幼稚園児も参加）
 - 12月 幼稚園1週間交流（予定）
- ※幼稚園では、上記以外にも交流を予定。（年間約90日）
保護者交流も2回開催

*黒田教育長より

9月15日の小学校1日交流では、登下校を実際に近い形でスクールバスの運行を行いました。7:15大川を出発し、7:30少し前に熱川小に到着。熱川小の児童とほぼ同じ時間に登校できました。また、熱川小児童と一緒に朝運動を行うこともできました。

授業の様子については、3月と6月の時には多少緊張した面も見受けられましたが、今回はさほど緊張した様子もなく、大川の児童が発表をする場面も見受けられ、両校の児童が同じ雰囲気の中で授業を受けていました。大川小の先生が担当する授業もありました。

下校については、低学年と高学年に分けて2便運行する予定でしたが、この日は、保護者の参観日・懇談会も行われたことにより、15:00に全児童下校となり、また、保護者と帰る子等もいましたが、学校ではその一人一人の行動を把握した中で名簿を作成し、その名簿をバスの運転手に渡して確実な下校を実施しました。

下校も登校と同じく11～12分で大川農協前に到着し、児童はそれぞれ帰宅しました。

《ご意見等》

◆熱川小佐藤教頭より

登下校のスクールバスの運行については、別紙3「登校時・下校時の連絡方法」のとおり実施しました。この日は、欠席者はなかったですが予定どおり連絡を行い登校することができました。下校については、先程の教育長の報告にもありましたとおり、通常とは違う形となりましたが、人数の把握等確実に行うことができました。緊張感を持ち行うことで今後確実に実施できるのではないかと感じています。

◆大川小で行われていた教育活動を熱川小に引き継ぐことについて
（熱川小佐藤教頭より）

7月29日に学校統合会議を開きました。その中で、生徒指導・学習指導・教育課程等について、大川小で取り組んでいる事を話していただき、その中で熱川小で取り組めることはないか検討を行っています。

現在、両小学校の教務担当同士で来年度の計画を立てています。
次回の会議でその内容を報告します。

2 統合準備会について（担当：小校長、教育委員会）

○第1回(4/28)・第2回(7/25)・第3回11/21、第4回は来年2月に開催予定。また、必要に応じた開催も検討。

○会議録(要旨)を作成し、町HP等でも公表していく。

《ご意見等》

※特になし

《今後の作業等》

*会議録の公表と各委員への配布。

3 PTA活動について

(担当:両園・両校のPTA運営委員会、PTA担当教職員)

○次年度以降の新たな組織について協議・検討

・規約の改正・活動事業(奉仕作業等)・協定服について(リユース等)

*幼稚園・小学校ともに規約(会則)や活動事業等について、前回の準備会までに確認済み。

ただし、小学校の大川地区役員については、児童数的には1名の地区役員となるが、複数体制の方が心強く、31年度への引継もスムーズに行えることから2名の選出も視野に入れ検討中である。との報告を前回いただいた。

幼稚園については、30年度は、これまでの熱川幼の規約に沿った形でPTA運営を行う。また、大川地区役員選出も少ない人数からの選出は難しいため、本年度より活動にも参加していただき、関わりを持つ機会は作っていることから、30年度は選出しないとの報告をそれぞれいただいている。

《ご意見等》

◆大川小力石教頭

12月上旬にこの準備会のPTA部会を開催し、会則・役員信任投票等を行う予定です。その内容を次回報告します。

*教育委員会より

協定服については、大川小保護者からの要望により、町で準備する。但し、熱川小で行われている協定服のリユース活動を充実させる目的であるため、貸与するものである。また、12月議会に補正予算を提出することを説明した。

◆現在、大川幼稚園年長児である来年度新1年生の分も町で準備するのか。

*町で準備します。統合に関わって、新たな出費が出る大川地区の皆さまへの配慮として行うものです。但し、単純に買い与えるということではなく、初めは、大川の児童に貸与しますが、利用できなくなったら返還していただき、熱川小の全体の子供達が今後のリユース活動で利用できる協定服として準備します。

《今後の作業等》

○次年度以降の組織編制の具体案協議と方向性の確認(継続)

○次年度以降の奉仕作業等PTA活動案協議と方向性の確認(継続)

4 閉園・閉校記念誌、記念品制作について

(担当:教育委員会、大川幼主任・大川小教頭、PTA代表)

○別紙1「大川幼稚園・大川小学校閉園閉校記念誌制作について」に基づき、

準備状況を報告した。

《ご意見等》

◆閉校記念誌と記念品の発注数と誰に配布を予定しているのか。例えば、来賓には必ず渡されると思うが、保護者はどうなのかといったところを教えてください

*記念誌は、式典参加者と大川地区全世帯に配布できるよう500部発注しております。記念品は、園児・児童全員と先生方、式典参加者に配布できるよう200個発注しました。式典には大川地区の皆さまにも広く参加していただきたいと思っています。配布に関する詳細については、検討中です。

◆記念誌や式典資料の中で、「校歌」としているが、大川小のこれまでの先生方・卒業生は校歌ではなく、「光あふれる」であると思っている。例えば、学校行事でも「校歌斉唱」ではなく「光あふれる斉唱」としている。この曲を作った方もそう言われており、伝統として残っているので、校歌とすると違和感を持つと思います。

*これまでの大川小学校の伝統に合わせた表記や使用を行います。

《今後の作業等》

※引き続き記念誌・記念品の制作準備を行う。

5 閉園・閉校式典について

(担当：教育委員会、大川幼主任・大川小教頭、PTA代表)

○別紙2「大川幼稚園・大川小学校閉園閉校式典について」に基づき、準備状況を報告した。

《ご意見等》

※特になし

《今後の作業等》

※引き続き式典に向けて準備を行う。

6 大川幼・小の備品・文書処理について

(担当：教育委員会、大川幼主任、大川小教頭・事務)

○移動・整理(廃棄)備品の確認(備品台帳との照合、他校要望品の調整)

○大川小跡地利用との関係

○図書の整理

○文書処理(文書管理規定の確認)

○備品及び文書の移動・廃棄作業

○給食費等金融機関との調整

《ご意見等》

※特になし

《今後の作業等》

○備品台帳照合、移動備品確認・検討(園主任、小教頭・教科主任・事務)

※熱川幼小、町内園小中、町内教育施設、大川区・町の順に利活用備品を検討し、移動・残留・廃棄準備を行う。

○文書管理規程確認(教育委員会)

○耐火鉄庫内整理・確認(大川幼主任、大川小教頭)

7 教育課程、学習指導、生徒指導について（担当：両園・両校）

○教育課程（教務主任）

- ・両園両校擦り合わせ：本年度実施内容、次年度計画等

○学習指導（研修主任）

- ・両園両校確認：研修内容（基礎学力等）、各教科学習状況等

○生徒指導（生徒指導主任）

- ・両園両校確認：学校のきまり、地区会、児童会組織等

- * 前回の準備会において、大川小保護者の皆様が気にかけている、有事の際の学校の対応について、「熱川小学校安心安全のための危機対応マニュアル」（別紙）を学校のきまり等を踏まえ熱川小須藤校長より報告済み。

《ご意見等》

- ◆この統合で現在の大川小学校の先生方についてですが、できれば熱川小学校に赴任していただくことはできるか。

- * これまでの大川地区での説明会でも保護者よりご意見をいただいております。できる限り多くの大川小の先生方が、子どもと一緒に移動ができるように、人事を担当している県教育委員会に要望を行っています。これから来年度の人事の話し合いが行われますので、できる限り多くの先生が配置されるよう強く要望していきます。

我々としても子供達が安心できるものと思っていますので、努力します。

《今後の作業等》

- ※引き続き、より良い統合に向けて検討する。

8 通園・通学バスについて（担当：教育委員会・園・学校）

○交流計画の中で実際にバスを運行し、運行方法等検討

- * 別紙3「登下校時児童通学バスへの欠席（遅刻）・乗車人数連絡方法」により、9月15日の小学校1日交流で実施した。来年の1月29日～30日の3日間交流でも同じく実施する予定。

- ※内容については、「1学校行事（交流）等について」の中で報告したものと同一。

《ご意見等》

- ◆1月29～30日の交流では、北川の児童もバスを利用するのか。

- * 来年度4月からと同じように北川地区の児童にもバスを利用してもらう予定です。

《今後の作業等》

- ※1月の3日間交流でも「別紙3」のとおり実施し、検証を行う。

9 大川小学校跡地利用の検討について（担当：町）

○町企画調整課と大川区において、協議・検討中

- * 平成27・28年度に行われた大川地区説明会で出されたご意見の確認。

①幼稚園であった部屋は、交流の場・遊びの場として残せないか。

②グラウンドを子供達が安全に遊べる場として残してほしい。（公園整備）

③新たなコミュニティの場として残してほしい。

④公民館として利用（避難地・避難場所としてはこれまでどおり。）

《ご意見等》

- ◆提案ですが、大川小学校の1教室に地域の方や卒業生が、大川小の思い出

を感じられる部屋を作ってはどうか。

◆今後の大川小校舎の管理はどこが行うのですか。

*これもまだ決まっておられません。町がそのまま管理する場合や指定管理をお願いする場合などいくつかの方法があります。

10 保護者・地域への説明会開催について（担当：教育委員会）

○4月13日 熱川幼・小PTAに対し実施

○4月26日 大川幼・小PTAに対し実施

○6月1日 地域説明会開催

○9月22日 地域説明会開催

*別紙4-1、4-2説明会記録参照、今後1回（2月）開催予定

《ご意見等》

※特になし

《今後の作業等》

※計画のとおり、2月に説明会を開催する。

11 その他

◆1回目の時にも話しましたが、新生熱川小学校の開校式典はどのような形で設けられますか。

*入学式の中で新しい開校セレモニーとなる内容を盛り込みたいと考えています。学校と子供達に負担が少ない形で行えるよう検討中です。また、相談させていただきます。幼稚園も同じように考えています。

◆体操服という物は、大川と熱川は同じですか。違う場合は統一した方が良いでしょうか。

*若干の違いはあります（熱川はワッペンがある）が、これまでの大川のものの使用で構わないと思っています。

◆ワッペンなどは大川小PTA会費で賄えると思っています。

◆この場は、大川と熱川の統合について話し合いを行っていますが、町全体の学校の統合など将来的な展望も大変気になっている。現時点での概要を知りたい。

*町では、町全体の学校教育のあり方を検討するために学校教育環境整備委員会を設置し、27年度から検討を始めました。検討する中で大川幼小の現状や今後の見通しがクローズアップされ、まずは大川幼小について考えなければならぬとの意見から、大川と熱川の統合について大川地区と話し合いを行い、その内容を基に「統合が望ましい」との中間答申が行われました。引続き全体の学校教育について検討が行なわれ、出された最終答申では、二つの方向性が示されました。一つは、中学校の教科指導体制や部活動の課題解決のため、中学校同士を統合する。小学校と幼稚園については、できる限り家庭・地域の近くで子供達が学ぶことが望ましいため現状を維持する。そしてもう一つは、熱川・稲取両地区それぞれに小中一貫校を作り、それぞれの地域の中で学ぶことができる新しい学校教育環境を整えるといった内容が出されています。どちらにするかは、現在、町及び教育委員会において検討を行っている状況です。

◆中学生のスクールバスの利用についてお願いですが、例えば、警報が解除され、10時までに登校となったが、伊豆急行は止まっているといった場

合、大川・北川の生徒もスクールバスを利用できませんか。

*今回のスクールバスは、国の補助金をいただき購入するため、目的以外の利用には制限があります。但し、学校教育活動での使用は認められているところもあるため、可能かどうか確認します。

◆前回、中学生の通学費補助について、町は検討されていると伺いましたがどうですか。

*町長の考えは、30年4月からと時期を限定したものではなく、今後、中学生の通学費支援も町として必要、という考えを聞いております。但し、いつの段階でどうという話はできません。このお話は再度町長に伝えます。

*この会の会議の内容を整理した上で、会議録を作成し、町HPに掲載します。引き続き、教育委員会及びそれぞれの機関において準備をお行い、その結果報告や新たな課題の検証を行うため、次回は2月に開催したいと思っております。よろしくお祈りいたします。

6 閉 会 (進士 真副会長 大川小校長)

本日は、長時間にわたり熱心なご協議ありがとうございました。大川小学校では11月11日に最後の収穫祭が行われました。43年間続いた収穫祭ということで多くの区民と卒業生が訪れまして、大変盛り上げていただきました。ひとつひとつ行事が終わっていくと寂しさが募ってくるわけですが、閉校まで5カ月を切りました。またこの次は2月となりますが、ソフト面とハード面の両面から環境を整えながら両校の児童や園児がスムーズに良い形で統合を迎えられるようにしていきたいと考えますので、皆様のご尽力をお願いいたします。本日はお疲れ様でした。

協定服について(お知らせ)

早春の候、保護者の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本年4月の統合に向けて、熱川小学校で使用する協定服を町の予算で購入し、統合時に必要となる大川の児童に貸与する形で使っていただく準備を進めております。下記の予定で準備したいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

- 1 対象児童** 統合時に熱川小1年生から6年生となる児童
- 2 協定服の内容** 《男子》上着・半ズボン 《女子》上着・スカート
- 3 サイズ合わせ** 2月16日(金)午後3時30分より
大川小学校で試着(サイズ合わせ)を行います
- 4 協定服の配布** 3月15日(木)午後3時30分より
大川小学校 児童玄関にて配布します(児童受取可)

5 その他

協定服は貸与する形をとらせていただきます。サイズが合わなくなるなど、使用しなくなった時は、洗濯のうえ、熱川小学校のPTA協定服リユース活動に提出してください。

【別紙 4】

◎大川幼稚園・大川小学校閉園閉校記念誌について

***平成 29 年 10 月 24 日(株)栄協 (アイドマ) と契約締結**

○記念誌の内容

- (1) 表紙タイトル 「 光あふれる 」
- (2) 大川小学校の校旗、光あふれる (校歌)
- (3) あいさつ *** 1, 200 字以内 (原稿用紙 3 枚以内)**
 - ①東伊豆町長
 - ②東伊豆町教育長
 - ③大川幼・小 PTA 会長
 - ④大川幼稚園長・大川小学校長
 - ⑤大川区長
- (4) 写 真 集
 - ①開校から現在までの写真
 - ・授業の場面、運動会、農業体験・収穫祭といった特色ある教育活動等々、その当時の生活の様子がわかり易い写真。
 - * 7 ページ掲載 (1 ページに写真 6 枚掲載)**
 - ②卒業生 (集合写真)
 - * 学校にあるものすべて掲載 (1 ページに写真 3 枚掲載)**
 - ③平成 29 年度の園児・児童の活動写真
 - * 8 ページ掲載 (1 ページに写真 6 枚掲載)**
- (5) 寄 稿 文 *** 400 字程度 (原稿用紙 1 枚程度)**
 - ①卒 業 生 等 (10~15 名)
 - ・大きな出来事があった年、節目の年を中心に代表者を選定。
(校舎新築、伊豆大島近海地震、昭和から平成 等)
 - * 卒業生 11 名分掲載**
 - ②平成 29 年度の子ども (在園・在校生)
 - ・4~6 年生は作文
 - ・園児、低学年生はメッセージカードに文字や絵を書き掲載
 - ③保 護 者 (協力していただける方)
- (6) 園・学校の沿革 (併せて園児数、児童数をグラフ化し掲載)
- (7) 歴代園長・校長一覧、歴代 P T A 会長一覧
- (9) 記念誌編集委員 (名簿のとおり)・平成 29 年度教職員

関係各位

大川小学校・大川幼稚園 閉校式・閉園式のお知らせ

立春の候、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年4月に大川小学校・大川幼稚園が熱川小学校・熱川幼稚園と統合することとなり、閉校閉園記念式典を下記の日程にて開催する運びとなりました。つきましては、お忙しいこととは存じますが、多数の皆様のご出席、ご来校をいただきますようお願い申し上げます。

記

1 日時 3月24日（土） 午前9時30分 受付
午前10時 開式

2 場所 大川小学校 運動場

※雨天の場合は、運動場と教室

3 内容

- | | |
|----------|------------|
| ①開式の辞 | ⑥PTA会長代表挨拶 |
| ②国歌斉唱 | ⑦来賓紹介 |
| ③教育委員会告辞 | ⑧児童発表 |
| ④町長式辞 | ⑨光あふれる斉唱 |
| ⑤学校長式辞 | ⑩閉式の辞 |

◆駐車場について

駐車スペースが限られるため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

車で来られる方は、大川海岸の旧グランドホテル駐車場に駐車をお願いします。町の車で学校まで送迎いたします。

【別紙 6】

登校時児童通学バスへの欠席（遅刻）連絡方法

東伊豆町教育委員会

1 手順

- ① 保護者は、当日朝 7:00 までに 熱川小 23-0037 に電話し、
留守番電話に、**学年、児童氏名、欠席（遅刻）理由**を保存する
※学校職員が電話に出た場合は、職員に伝える
- ② 熱川小職員から 7:10 にバス運転手携帯に学校メールシステムで欠席者連絡（人数、氏名）をする
- ③ バス運転手は乗車児童数を確認し、学校へ出発連絡し、出発する
※欠席連絡無くバスに乗車しない児童がいた場合は、運転手は学校へ電話連絡する
⇒学校は、家庭に連絡し確認する⇒安否が不明な場合は、学校職員が家庭と協力して児童の所在確認を速やかに行う
⇒5分待っても児童がバス発車場所に来ない場合は出発する

下校時児童通学バスへの乗車人数連絡方法

1 手順（第1便、第2便とも同じ）

- ① 急な事情で下校時のバスに乗らない場合、保護者は、事前に学校に**学年、児童氏名、理由**を連絡する
- ② 熱川小職員は、発車時刻までに運転手に乗車人数を伝える
※児童名一覧に（乗らない子）を記した用紙をわたす
- ③ バス運転手は発車時刻に乗車児童数を確認し出発する
※乗車予定児童がいない場合は学校に電話で伝え確認する
⇒学校職員は、児童の居場所と状況を確認して運転手に伝える
- ④ バス運転手は、予定児童が乗車しない場合でも、学校と相談の上で予定時刻5分後を目安に出発する
※児童に何かトラブルがありバスに乗れない場合は、学校から家庭へ連絡し、その後の対応をとる

通学バスについてのお知らせとお願い

平成30年度から、熱川小学校に通学する町のスクールバスを下記のように運行いたします。安全な通学となるよう努めていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

1 利用児童 大川区、北川区の小学生

2 運行開始 4月5日（木）始業式の日から

※4月5日（木）は午前中で終了のため、新2～6年生は、熱小発 11:45～北川バス停 11:55～大川支所 12:00 の通学バスで下校します。

※新1年生は、入学式に合わせて家庭での送迎をお願いします。

※新6年生4月4日（水）入学式準備の登校は、町の車で送迎します。

3 乗降場所 ①伊豆太陽農協大川支所前 ②北川バス停

4 運行時間 【登校】大川支所 7:15 ～ 北川バス停 7:20 ～ 熱川小 7:30

【下校1】熱川小 15:00 ～ 北川バス停 15:10 ～大川支所 15:15

【下校2】熱川小 16:00 ～ 北川バス停 16:10 ～大川支所 16:15

※時間の変更や、これ以外の特別な運行を行う場合は、学校より連絡いたします。

5 欠席・早退の連絡方法

【別紙1】『登校時児童通学バスへの欠席（遅刻）連絡方法』をご覧ください。

6 災害時の対応

【バス出発前】①事前に大雨、大地震等による危険が予想される場合は、学校メール、町広報等で 運行停止、時間変更等の対応をお知らせします。

②当日朝のバス出発直前に地震等の大きな災害が発生した場合は、出発を見合わせ、町・教育委員会・学校と対応を相談したうえで家庭に連絡します。

※児童が家庭にいる場合は、安全確保（自宅待機や自主避難）をしてください。

※バスに向かって移動中の児童は、身の安全確保の行動をとり、基本は家にもどることとします。バスに乗車した児童は、運転手によりバス内待機を基本として安全確保の後、家庭への引き渡しをします。

【バス走行中】①運転手は、津波等の危険区域を避け、高台にバスを移動・停車し児童の安全を確保する。

※バスの走行が不可能な場合は、徒歩で児童を安全な場所に誘導します。

②運転手は、バスの無線機・携帯電話を使って役場と連絡をとり、状況報告をするとともに、情報と指示を受けて安全確保の対応をとる。

③教育委員会は、運転手の連絡を受け状況把握に努めるとともに、学校とも連絡をとり、家庭に状況と対応について連絡します。

【学校出発前】①地震等の大きな災害が発生した場合は、原則としてバス運行を停止し、児童は学校待機とします。

②教育委員会は、学校と連絡をとり、その後の対応について家庭に連絡をします。

※上記以外の対応をする場合は、学校を通して連絡をします。

《問合せ先》東伊豆町教育委員会 ☎ 0557-95-6207

大川小・熱川小等統合に伴う大川小保護者への準備説明会記録（要旨）

- 1 日 時 平成29年4月26日（水）19：00（19：10）～20：00
- 2 場 所 大川小学校集会室
- 3 参加者 保護者8名、教育委員会：教育長・坂田

4 内 容

○教育委員会（教育長）より、資料に基づき統合に向けたスケジュールについて説明

《保護者からの意見》

*準備会会議の方法は、あらかじめ部会を決め部会に分かれて行われるのか。

○準備会は、委嘱された委員で全大会。必要に応じて部会を設け別途行う形式。

○準備会は、委嘱された委員で行われるもの。ただし、公開とし、必要であれば傍聴は認める。

*スクールバス運行方法

○交流を計画しており、その時に実際にバスを運行し、色々な課題をクリアしていきたい。

*予定では、7：00発となっているが、できる限りゆとりある設定としてほしい。

*休み等の連絡方法。運転手さんの専用携帯への連絡の提案があった。

*熱川小は基本的には徒歩通学、諸事情により車での送迎を認めている。
大川小はバス通学。

*放課後児童クラブの利用について

○H29より希望が多い傾向のため、拡大した。

*跡地利用の検討について、保護者や地域の人も交えていただきたい。

○町と大川区で検討している。検討会等を設けるかも現時点では言えないが、今日の説明会での話は町に伝える。

*緊急時の対応について

○準備会・両学校において、当然話し合わせ対応策が決められる。

【別紙 7-2】

大川小・熱川小等統合に関する地域説明会記録（要旨）

- 1 日 時 平成29年6月1日（木）19：05～20：00
- 2 場 所 町立図書館 2階視聴覚室
- 3 参加者 13名、教育委員会：教育長・坂田
- 4 内 容

○ 教育委員会（教育長）より、統合の方針を決定した経緯と統合に向けた全体的なスケジュールについて、資料に基づき説明を行った。

続いて坂田より、4月28日に開催された準備委員会の内容について、資料に基づき概要説明を行った。

《参加者からの意見》

○ スクールバスの運行について、イメージを教えてください。

* 最終的な確定ではないが、3/1に小学校の交流を行ったときは、大川小の教員が生徒の参集を確認し、引率して7：00に農協前を出発しました。かなり早く熱川小へ着いたため、6/27の交流では7：15に出発としました。また、路線バスが7：00に公民館前を出発するため、重複する心配もなくなります。

次に引率者がいない場合、学校を休む連絡体制を家庭と学校と運転手さんとのように行うか、学校と相談しています。

現段階では、まず家庭から学校へ連絡し、その内容を学校から運転手さんに連絡し欠席者の確認を行い、出発する方法を話し合っています。心配されることとしては、家からバスに向かっている途中で何か事故等があった場合の対応を考えていく必要があります、今後、相談していきます。

幼稚園については、これも現段階ですが、まず、8：20に白田・片瀬地区の園児を迎え、8：35ぐらいに幼稚園へ送り届け、大川の迎えを行う予定です。大川の出発は8：50ぐらいになり、9：05着を見込んでいます。

提案では、早い時間を考えていましたが、余裕のある時間を設定し試していきたいと考えています。

○ 現在の熱川小学校の生徒の登校時間は何時ごろですか。

* 7：30～35頃のようなようです。学校の始まる時間は8：00ですが、色々と準備がありますので7：35頃とし、熱川小の場合、7：40から朝の運動や委員会活動など、授業の準備がありますので、7：35頃までに登校するパターンとなっています。それに間に合うように7：15出発で行ってみることとしました。

○ 熱川小のバス停はどこを予定していますか。小橋のバス停から学校までは道幅が狭いと感じますが。

* プール前の駐車場を想定しています。バスも大型ではないので大丈夫です。

○ 個人的には、熱川農協あたりで下車させ、歩かせるのも良いのではないかと思います。

* まだ決定ではないです。バス停の管理の問題もあるので、学校敷地内を基本的には考えています。また、子供達が集まりやすい場所としても良いのではないかと思います。朝も歩く時間を考慮すると出発時間を早める必要もありますので・・・。今後色々なご意見を基に良い方法を相談していきます。

○ 統合準備について、準備会で協議し決めていくとのことですが、意見を出す場所

は、あくまでも保護者説明会か地域説明会で意見を出す形ですか。また、準備会は適に行われるのですか、毎月行われるのですか。

* 準備会の委員には、PTAの代表の方にも入っていただいておりますので、PTA運営委員会などで意見を出していただき、その内容を準備会で検討する方法もあります。よろしくをお願いします。

予定では、年4回ぐらい2か月に一度と考えています。また、その間には必要に応じて部会などを入れてきます。

* ご意見を伺う場の設定は、難しいところもありますが、できる限り多く持ちたいと思っています。また、大川地区の皆様との説明会では、統合後も検証する場を設けてほしいとの要望がありましたので、検討する場の設定やそれに代わるアンケートなどを行っていきたいと考えています。

○ 準備会の会議録に白田・片瀬のスクールバス運行はできないといった内容があるが。

* 今回の大川地区スクールバスの運行を決定し、北川の子供も路線バスを利用していることから、ルート上にある北川の利用も可能としました。委員から白田・片瀬地区の方々からもお話が出るのではないかと意見をいただきましたが、お気持ちは理解できますし、もちろん検討は必要ですが、大川・北川以外の運行拡大は、現時点では考えていないことをご理解をいただきたいと説明しました。

○ 将来を見据えた、全体のスクールバス運行の計画やあるいは通学補助といった考えはありませんか。

* 中学校については、ご意見をいただき、検討を始めているところですが、先程、ご説明した27・28年度の学校整備委員会では、町全体の幼小中の在り方について検討を行い、3月に答申がありました、その内容は、中学校を統合する。または、熱川・稲取両地区に小中一貫校を整備する。といったものです。今後、町及び教育委員会において方向性を決定するわけですが、その方向性を決定するとともに全体の通学の在り方についても考える必要があると考えています。まず、どこに学校を設置し、どのように当町の教育が行われるべきかを決定したうえで、通学方法等についても検討したいと思っています。

○ 3/1に実際に小学校の交流が行われたが、その時の子供達の反応はどうでしたか。

* 朝、バスに乗るところで聞いたときは、半分の子は「楽しみ」、もう半分の子は「ドキドキしている」と言っていました。不安と期待が入り混じった状態でした。先生方から聞いた話では、教室に入るときは緊張した面持ちでしたが、帰るときには自然な集団の中で和やかな感じで、どの学年も一日を終えたようです。一日だけでもかなり成果があったと聞いています。

○ 子どもと大人の見方は違うので、アンケートなど行ってみてはどうですか。

* その辺については、先生方が子供達から意見というか声を聞き、交流の前と後で両校の話し合いが行われています。それを基に次の交流の計画・内容の工夫が考えられています。

○ スクールバスについて、白田・片瀬地区からは要望はなかったですか。

* これまで白田・片瀬地区の皆様とは話し合う場があまりなかったこともあります。大川地区の皆さんとの話し合いとともに熱川地区の保護者さんや地域の皆さんを対象とした説明会も何回か開きましたが、あまり参加を得られなかつ

- たので、直接バスが欲しいといったお話はありませんでした。
- 要望していいんでしたら要望したと思います。将来的なことも考えていただきたいと若い世代も考えていると思います。
 - 北川の子どもだけ利用できるということを気にしているのですが、北川の子どもは、町の自主運行を利用していますが、無料で乗っているわけではないので、それを特別といった感じでとられるのは……。自分たちはこれまで何十年と我慢してきたので、今後このような会で付け加えて説明をお願いしたい。
 - * 教育委員会としては特別と言っているつもりはありません。しかし、説明する必要があれば説明させていただきます。
 - 大川幼稚園ではPTAサロンなど地域の人達とともに活動する機会があり、皆、楽しみにしています。熱川幼稚園でも同様の活動はあると思いますが、地域で子育てする仕組みが大変良い事であると思っているので、その開催地域をバランスよく行ってもらいたいと思っています。その構想はありますか。
 - * これまで行われてきた活動をうまく引き継いでいきたいとは思っています。構想とまでは言えないが、それぞれの地域の皆さんと触れ合える活動の工夫を幼稚園に対して、話したいと思っています。
 - 大川地区のバス停は、公民館前・二度山前の2か所ですか。
 - * 公民館前と家が海の近くの子どもについては二度山前、北川バス停、そして熱川小のプールの前と予定しています。
 - 2ヶ所以上となると、先程の連絡体制のやり取りの説明があつたが、大変かと思いますが。
 - * 名簿は決まっているので、連絡さえしっかり取りあえれば可能だと思います。そのようにして行ってみたいと思います。
 - 準備会会議録の中に「小学校だと地区役の人達が子供会も運営することが多い。」とありますが、これは間違いで、熱川では地区役と子供会とは別です。次に「中学校になると今度は育成会を動かしたりしています。」とありますが、小学校でも育成会があり、地区役と育成会が兼ねている状況です。ここは伝えた方が良かったと思いますので。
 - * ありがとうございます。昨日、PTAの役員同士の会議がありました。その中で会則を確認し、役員の構成など話し合われました。
 - 大川小の跡地利用についてですが、その在り方については、今年、数か月で決めるのですか、それとももう数年考えて決めることになりますか。
 - * それも含めて大川区と町とで協議が行われるものと思います。教育委員会としては、利用方法が早く決まれば備品の仕分けなど管理の仕方も決めることができるのですが、進捗状況ははっきりつかめていない状況です。もう少し長い目で考えていく事になるかもしれません。

5 閉 会

丁寧の説明する機会を沢山持ちたいのですが、中々頻繁には持てないものですから、基本的には統合準備会の方で細かい内容を相談させていただき、折を見て保護者・地域の皆様にご報告させていただきたいと思っています。ご意見がありましたらPTAを通して出させていただきますようお願いいたします。今後ともよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

【別紙 7-3】

大川小・熱川小等統合に関する地域説明会（第2回）記録（要旨）

- 1 日 時 平成29年9月22日（金）19：05～20：00
- 2 場 所 町立図書館 2階視聴覚室
- 3 参加者 11名、教育委員会：黒田教育長・坂田事務局長
- 4 内 容

○あいさつ（黒田教育長）

今日は、ご参加いただきありがとうございます。大川幼小と熱川幼小それぞれの統合準備について、これまでも報告させていただいていますが、前回から本日までの状況を説明し、皆さんよりご意見を伺い、今後の準備を進めていきたいのでお願いします。とのあいさつ後、9月15日（金）に実施された、大川・熱川小の1日交流の様子について次のとおり説明した。

9/15 大川小と熱川小の1日交流が行われました。3月と6月にも行われ今回で3回目になります。子供達がスムーズに統合を迎えられるよう計画し実施しています。特に今回は登下校について、実際に近い形でバスを運行し行われました。

資料の「登校時児童通学バスへの欠席（遅刻）連絡方法・下校時児童通学バスへの乗車人員連絡方法」のとおり試してみました。（連絡方法に記載されている内容を詳細に説明。）大川出発は7：15、熱川小には7：30少し前には到着できることが確認できました。熱川小の児童とほぼ同じ時間に登校でき、その日は、熱川小の児童と一緒に朝運動を行うことができました。

授業の様子は、3月と6月の時は多少緊張した面も見受けられましたが、今回は、私の見た限りですが、緊張した様子もなく、発表する場面も見られそれぞれの児童が同じような雰囲気の中で授業を受けていたと思います。先生方も大川の先生が担当する授業もあり、それぞれの教職員が同じような体制で授業を行いました。

下校については、低学年・高学年を分けて2便運行する予定ですが、この日は保護者の参観日・懇談会も合同で行いましたので、児童は15：00に全児童下校となりました。この日は保護者と帰る子もいましたが、それを学校側が把握をし、運転手に名簿を渡し、「連絡方法」に記載のとおり、下校しました。朝と同じく11～12分で大川農協前に到着し、子供達はそれぞれ帰宅しました。そのような流れで、私が見た限りでは、スムーズに交流ができたと思っています。

また、先生方にも子供の様子を詳しく聞き、1月に予定されている3日間連続の交流に生かしていきたいと考えています。

幼稚園につきましたは、これまでも多くの交流が行われておりますが、今年は9・10・11・12月と1週間連続の交流を行います。これまでの交流は順調に行われているとのことです。今後私も様子を見たうえで、ご報告させていただきたいと思います。

続いて事務局 坂田より、4/28・7/25と2回開催された準備委員会（全体会）やPTA組織改正等の部会の状況、教育委員会の準備取組状況等について、資料に基づき概要説明を行った。

《参加者からの意見》

- * 教育長より、大川区長に跡地利用の進展について伺った。

- 区としては、大川の各組で会合を持つときに話題にあげ、区民の意見を伺いたいとお願いしている。しかし、なかなか意見は出てこない状況。それも仕方ないと思う。難しい問題である。町とも具体的には話し合いが行われていない状況である。とにかく、いろんな機会をとらえて区民にも意見を出してもらい、町と話し合っていきたいと考えている。よろしくお願ひしたい。
- 今は教育委員会の管理か。
 - * 現在は、教育委員会が管理者です。(来年度からは、町となる。)
 - 昨年説明会では、子供が遊べる場として公園的な活用、避難場所としての役割、そういうご意見をいただいております。
- 話がそれてしまいますが、学校からJアラートが出た時の対応について配られたが、片瀬堀切を下校中それが出た場合、学校の対応は。また地震の時も同じか。スクールバスには、イリジウム(衛星電話)を運転手に持たせては。
 - * 皆さんに配られたものは、国からの注意情報の基本的な内容をまとめてお渡ししたものです。建物に避難やそれができない場合は、身を伏せるなどです。堀切の場合は、何かの物陰に隠れ、身を低くして爆風から体を守ることになります。それを子供達に指導しています。学校としては、教員が動ける状態になり次第、通学路の確認或いは家庭と連絡を取るなど行動を行います。地震の時も同じです。
 - 衛星電話については、連絡は必ず学校を通して行うこととしていますので、考えていません。スクールバスには、町の防災無線を取り付けますので、役場とバスとは連絡が取れる状態になります。
- 熱川小では、緊急時の連絡を取るための使用として、携帯電話の所持は認めていますか。
 - * 基本的には認めていません。しかし、学校生活をするうえで安全配慮のためと限定した使用は許可することも考えられます。学校へ申し出ていただいで相談していただきたいと思ひます。
- 兄弟が多い場合、下校は2便とのことですが、例えば上の子に合わせてバスに乗るといったことは可能ですか。
 - * 理由によりますが、学校に申し出ていただき、調整が可能と判断します。申し訳ないが、理由が必要になります。
- スクールバスの連絡方法ですが、安全のためには自分もこの方法が良いと思ひましたが、中には、毎日のことなので大変と感じる方もいるようです。
 - * 大変ということも解らなくはないが、教育委員会としては、安全確実な方法で万が一のことが無いよう、来年スタートしたいと考えています。
 - 今後、そして実際に統合がスタートしてからも検討し、変更は可能ですので、良い方法を皆で考えていきたいと思ひています。よろしくお願ひします。
 - 1月の交流の時には、北川の児童もバスに乗り、実際と同じ運行を考えていますので、ご意見をいただきたいと思ひます。

- バスの出発時刻ですが、東海バスと重なる時間帯だと思います。また、年に数回消防活動で車が込み合う時があるが、別の場所等は考えていますか。
 - * 東海バスが 7:12 出発、スクールバスが 7:15 です。バス 2 台が並ぶ時間帯がありますが、町は農協前を利用させていただきました。今後もその形で考えています。また、消防活動で農協前がいっぱいになることも予想されますが、消防の皆様にご協力いただくようお願いしたいと考えています。

- 白田片瀬では、前々から話は出ていますが、「堀切」通学路は心配な部分があります。国の距離数の基準以下であるため、バスの運行はできないと認識しているが、白田片瀬の保護者さんたちは、町がやらないと言っているのも仕方ない、でも・・・といった状況です。しかし、堀切は 100%安全とは言い切れないと思います。3 年後・5 年後の子供の人数などを見据え検討をお願いしたい。また、協定服について、大川小の児童の分を熱川小のリユース活動を充実させる意味で町が準備することについては、反対ではありませんが、大川地区の新 1 年生の分はどうするのですか。
 - * まだ、検討中ですが、今のところの考えは、大川の新 1 年生の分も準備したいと考えています。また、大川小 P T A 会費を協定服にとの検討も行われていますが、全ては無理なため、足りない部分に町の予算を充てるなど検討していると聞いています。また決まりましたら説明させていただきます。

5 閉 会

今後も円滑な統合に向けて準備を進め、また 2 月にはこのような場を設け、保護者・地域の皆様にご報告させていただきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

平成30年3月吉日

関係各位

平成30年度 開校式・入学式のご案内

東伊豆町教育長 黒田種樹

東伊豆町立大川小学校長 進士 真

東伊豆町立熱川小学校長 須藤裕文

早春の候、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年4月に大川小学校・熱川小学校が統合することとなり、新生熱川小学校として閉校記念式典と入学式を下記の日程にて開催する運びとなりました。つきましては、お忙しいこととは存じますが、多数の皆様のご出席、ご来校をいただきますようお願い申し上げます。

記

1 日時 4月5日（木） 午前9時30分 受付
午前10時 開式

2 場所 熱川小学校 体育館

3 次第

- | | |
|------------|---------------|
| ① 開式の言葉 | ⑥ 学校長式辞 |
| ② 教育委員会告辞 | ⑦ 来賓祝辞 |
| ③ 開校宣言（児童） | ⑧ 在校生からのプレゼント |
| ④ 1年担任発表 | ⑨ 閉式の言葉 |
| ⑤ 入学児童呼名 | |

◆駐車場について

車で来られる方は、〇〇駐車場に駐車をお願いします。車が混雑しますので、安全にご配慮下さい。

《問合せ先》 熱川小学校 0557-23-0037 東伊豆町教育委員会 0557-95-6207